

令和7年4月30日

腎臓移植外科に通院中の患者さんへ(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（2022年3月10日一部改正）」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

研究課題名

免疫グロブリン静注療法がタクロリムスおよびミコフェノール酸血中濃度に与える影響

研究機関 市立札幌病院 （薬剤部）

研究責任者 薬剤部／加納 宏樹

研究の目的 免疫抑制療法の適正化について検討するため

研究の方法

1 対象となる患者さん

2020年4月1日から2025年3月31日の間に当院で生体腎移植を施行された患者さん

2 利用するカルテ情報

年齢、性別、身長、体重、腎機能（Cr、eGFR、CCr、UN）、肝機能（AST、ALT、 γ -GT、T-Bil）、電解質、その他（Na、K、ALB、IgG、IgM、WBC、Hgb、PLT）、TAC血中濃度（C0、AUC0-12、AUC0-24、C/D）、MPA血中濃度（AUC0-12、C/D）、使用薬（免疫抑制薬や併用薬、免疫グロブリンなど）、免疫学的リスク、原疾患、血漿交換（単純血漿交換およびDFPP）回数および内容

個人情報の取り扱い

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

※上記の研究に診療情報を利用することをご了解いただけない場合は、ご連絡ください。

【お問い合わせ先】

札幌市中央区北11条西13丁目
市立札幌病院薬剤部